

令和8年度第1回長浜市地域公共交通会議・  
長浜市地域公共交通活性化協議会 会議録

日時 令和8年5月27日(水) 9:45~11:45

場所 長浜市役所本庁舎5階 5-A会議室

出席者  
出席：轟会長、松居委員、喜多畑委員、松本委員、森安委員、柳本委員、引山委員、三崎委員、辰巳委員、糸委員、野村委員、池田委員、北村委員、木下委員、山下委員、塚田委員、角川委員、藤田委員、北川委員、服部委員  
(以上20人)  
欠席：松尾委員、奥田委員  
(以上2人)  
傍聴者：3名  
事務局：都市建設部 一居部長、岩崎次長、都市計画課 河合課長  
交通対策室 雨森担当課長、中田副参事、禿主査、笹口主事

【司会：河合課長、説明：雨森担当課長、禿主査、笹口主事】

1 開会

会議成立の報告

あいさつ 一居都市建設部長(内容省略)

2 長浜市地域公共交通活性化協議会

<承認事項>

- (1) 令和7年度事業実績及び収支決算について
- (2) 令和8年度事業計画(案)及び予算(案)について  
事務局より資料に基づき説明(内容省略)

<協議事項>

- (1) 令和9年度地域間幹線系統補助認定申請について
- (2) 令和9年度地域内フィーダー系統補助認定申請について(新規)  
事務局より資料に基づき説明(内容省略)  
説明の後、次のような質疑がありました。

委員	各路線系統については、個別に評価するのか。
事務局	お見込みのとおり。

3 長浜市地域公共交通会議

<報告事項>

- (1) 令和7年度の長浜市内地域公共交通の運行実績について
- (2) 令和7年度公共交通利用促進事業の実績について
- (3) 令和7年度長浜市生活交通改善事業計画に基づく事業の評価について  
事務局より資料に基づき説明(内容省略)  
説明の後、次のような質疑がありました。

委員	参考資料2ページについて、主にどの数値を見るとよいか。
事務局	経常欠損の数値を見てもらうと、各路線がどれだけ赤字となっているか分かる。
委員	参考資料2ページに収支率の欄があるが、事務局として基準となる数値はあるのか。

事務局	15～20%くらいを想定している。
-----	-------------------

- (4) 高山線の一部区間における経路変更及び停留所移設について  
(5) 近江長岡線の一部区間における経路変更及び停留所移設について  
(6) 市内循環線の一部区間における経路変更及び停留所移設について  
事務局より資料に基づき説明（内容省略）  
(7) 令和8年度湖国バス夏休み特別乗車券販売等について  
事務局より資料に基づき説明（内容省略）

説明の後、次のような質疑がありました。

委員	子ども向けのイベントも多いが、学校等への周知はしているのか。
委員	教育委員会を通して学校に周知している。

<協議事項>

- (1) デマンド型乗合タクシー運行事業における利用料金等の改定について  
事務局より資料に基づき説明（内容省略）

説明の後、次のような質疑がありました。

委員	乗合協力券の発行フローについて教えてほしい。また、事業者の負担が重くならないか。
事務局	区域外運行で乗合となった場合、次回の運行で使用できる乗合協力券を運転手が手渡しで発行する。事業者には提案段階で過度な負担とならないことを確認済み。
委員	実施する事業者の立場からすると、一定の事務的な負担は生じるが、交通体系を維持していくための段階的な取組の一つと理解している。ただ、市にも利用者への丁寧な対応をお願いしたい。
委員	同じく実施する事業者の立場からすると、やっていく中で不具合等があれば、この会議で議題にしていけたらと思う。ただ、地区を跨ぎ、事業者が変わるような区間を走る場合には、どちらの事業者が券を発行するのか等の整理は必要かと思う。
事務局	事業者様と協議し、煩雑にならない方法で実施できればと思う。
委員	利用者側としては、券をもらったもらってないという問題が出てくる可能性があるので、たまたま乗り合ったということで割引にしてもらった方がシンプルで分かりやすいと思う。
事務局	乗合率を高めることを意識付けたいため、予約時に複数で乗ってもらうのが理想的だと考えている。
委員	年度表記については、4月から3月と、10月から9月で異なる期間で書かれている箇所があるが、統一できないか。
事務局	事務の都合上、やむを得ない部分があるのでご理解いただきたい。
委員	デマンドタクシーの料金値上げをすることで、路線バスよりも収支率を上げたい思いがあるのか。収支率の目標値はあるのか。
事務局	デマンドタクシーの料金が他の交通手段を乗り継ぐよりも安くなっていることを改善したいという思いで改定する。その結果、デマンドタクシーの方が収支率は上がることになると思う。収支率は高い方がよいが、目標値というものは定めていない。
委員	収支率については、県としては具体的な目標値を持っている訳ではないが、収支率だけで判断するのではなく、1人あたりの経費や補助額もしっかり見ていく必要があると感じている。
委員	国としても、特に基準値というものは持っていないが、市の財政が

	どれだけ持てるのかというのがポイントになるのではないか。適度な補助で公共交通を維持していただくのが一番かと。
委員	北部地域は特に高齢化が激しいため、公共交通の充足がより求められていくと思う。説得力のある説明をこれからもお願いしたい。
事務局	福祉部門等とも連携して、公共交通全体の維持に努めていく。

#### 4 その他

次回の会議日程について報告 10月8日(木)9時30分から

#### 5 閉 会